

事例：鳥取県情報センター様

サーバの移行と統合

財団法人鳥取県情報センター

-業務概要:情報センターは鳥取県・市町村における行政事務の情報化を支援しています。急速な情報環境の変化をふまえ、より柔軟に行政の情報化を進めるため、LANを利用した情報管理、県と市町村間を結ぶ高速大容量のネットワークの構築、行政情報ネットワークの総合的運営管理の充実を図っています。



鳥取県情報センター様

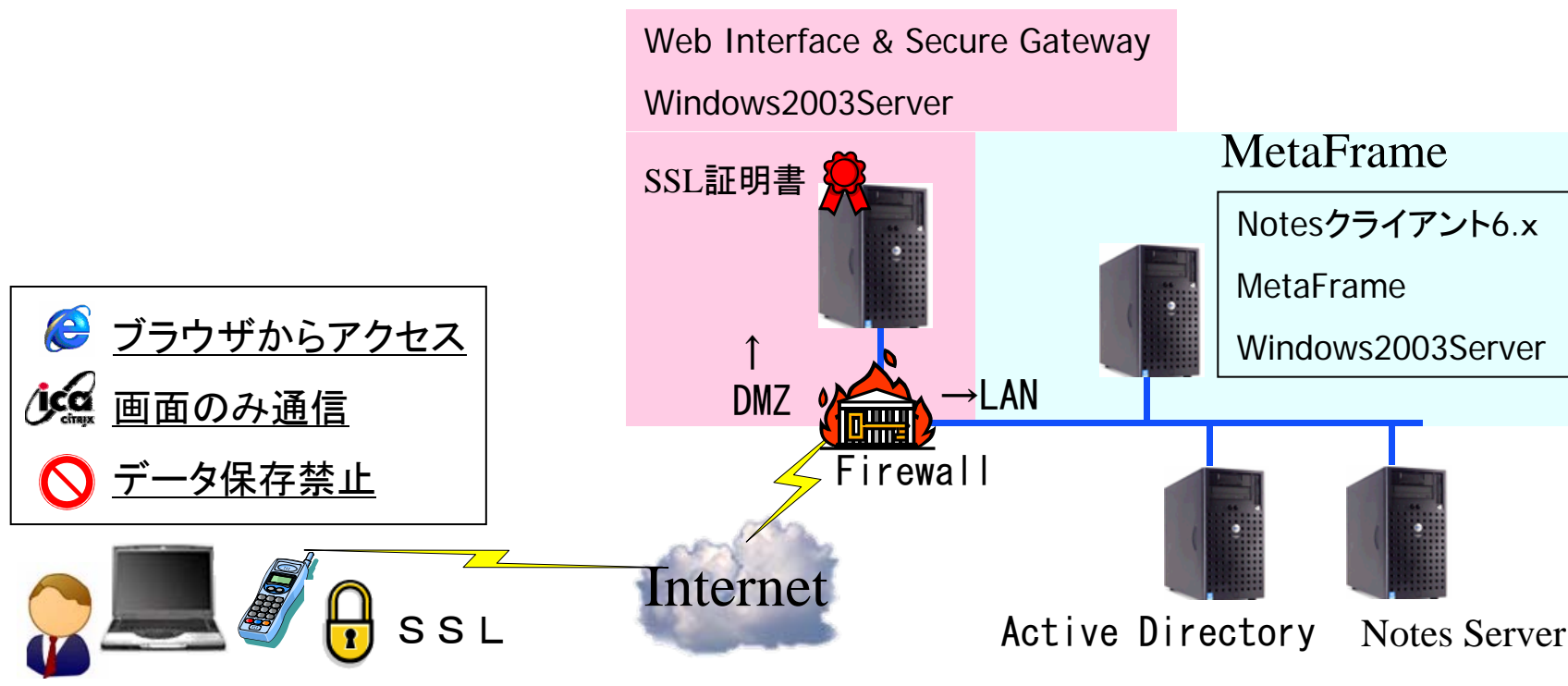
導入目的及びシステム構成

- Notesなどのリモートアクセス用にCitrix MetaFrameを採用
- MetaFrame機能別サーバの集約
- DMZに置くべきサーバとLANに置くべきサーバを同居
- 安価でセキュアなシステム作りの実現
- 地元企業育成にVMwareの技術を活用する為のノウハウの蓄積

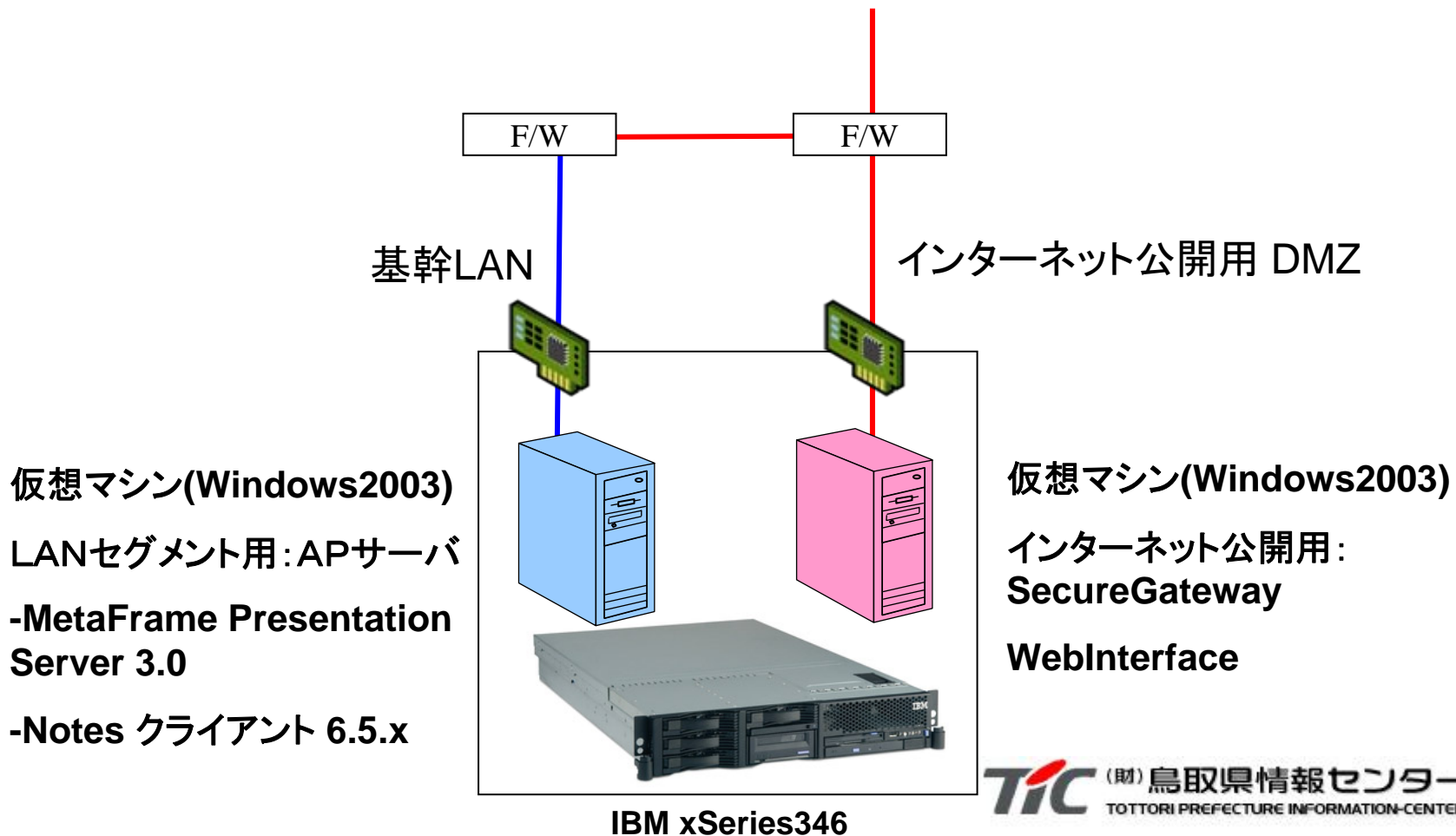
ハードウェア	IBM xSeries 346(2CPU 6GB RAM)
VMware製品	VMware ESX Server 2.5
ゲストOS	Windows Server 2003
アプリケーション	MetaFrame Presentation Server 3.0(Notes6.x)

Citrix導入に必要な構成

- インターネット経由でCitrix上のNotesを利用
 - DMZとLAN、2つのセグメントに最低でも1台ずつのサーバが必要
 - 冗長化や負荷対策の為に追加サーバが必要になる可能性もあり



導入システム構成図



仮想マシン(Windows2003)
 LANセグメント用:APサーバ
 -MetaFrame Presentation Server 3.0
 -Notes クライアント 6.5.x

仮想マシン(Windows2003)
 インターネット公開用:
SecureGateway
WebInterface

IBM xSeries346

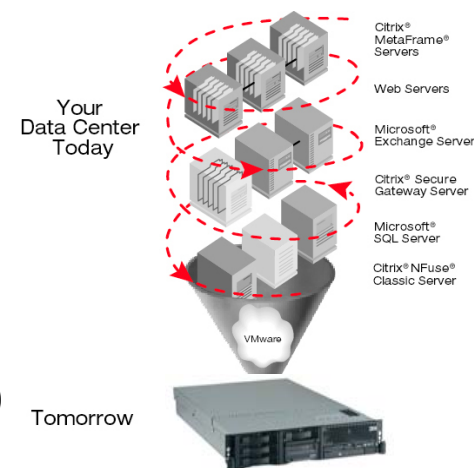
TIC (財)鳥取県情報センター
 TOTTORI PREFECTURE INFORMATION-CENTER

VMware ESX Server

VMWARE DAY 2005
 ユーティリティコンピューティングはVMwareから始まる!

ベネフィットと今後の予定

- 複数必要だった物理サーバを1台に統合
 - 低コスト(購入・保守・管理 etc)
 - 今後の冗長化など拡張の際に追加のハードウェア投資が不要に
 - 環境への配慮(今回は小さいが導入が進めば進むほど、省エネ化)
- VMwareの特徴を活かした運用
 - 物理的に1台であっても複数台あるのと同じ
 - 簡単にテスト環境を構築し、テストが可能
 - セキュリティパッチ、APの新バージョン
 - 仮想マシンなので、全く同じ環境を再現可能
- 今後の予定
 - 県庁内の各サーバをVMwareで統合(NTの延命も)
 - 5:1以上のサーバ統合を予定
 - 地元企業育成プランへのVMwareの活用



Review

財団法人 鳥取県情報センター

システム推進部 情報化支援グループ 奥田敏行様



VMwareの技術を活用し、地元企業のIT化促進及び企業育成のためのサービス提供を目指しています。今回の導入はそのノウハウの蓄積も目的でしたが、非常に満足しています

 (財)鳥取県情報センター
TOTTORI PREFECTURE INFORMATION-CENTER

VMWARE DAY 2005

ユーティリティコンピューティングはVMwareから始まる!